

研究課題名	病理組織検体を活用した造血器腫瘍の臨床病理学的研究
実施責任者	所属・職名： 血液内科 部長
	氏名： 小島 由美
研究の概要	<p>造血器腫瘍、つまり「血液のがん」が疑われて病理検査を受けられた方を対象とし、その病理組織検体をさまざまな角度から解析して病態解明、ひいては新たな診断法や治療開発につなげることを目的にしています。</p> <p>研究方法：過去に診断用に採取された病理組織検体の残りを使用して解析を行います。よって患者さんの負担が増えることはありません。また診断、治療を受けたカルテ情報を確認し、そのデータをまとめます。研究対象者の検体には保存のための別の番号が付けられます。その検体番号と病院名、施設内 ID 番号、病型、性別、生年月日とが連結可能な形で、管理台帳ファイルに管理・保管されます。管理台帳ファイルは名古屋大学医学部附属病院内でパスワードをかけたコンピューター内で保管され、第三者が患者さんを特定することはできません。</p> <p>この研究に参加された方々の年齢や性別、検査結果などは学会や論文で公表・使用されることがありますが、個</p>

	<p>人が特定されることはありません。また、この研究の記録が適切に残されていることなどを確認するために、当院の関係者が診療記録を見せていただき、内容の照合を行うことがあります。また今回の研究でご協力いただいた情報、試料は将来的に別の研究に用いる場合があります。（2次利用）。</p> <p>この研究は名古屋大学を主とする多施設共同研究で、名古屋大学における生命倫理審査委員会の承認を受け、それぞれの研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p>
<p>対象となる個人情報</p>	<p>情報：カルテ番号、病歴、抗がん剤治療の治療歴、血液検査、病理検査結果、画像検査の結果、副作用等の発生状況、など</p> <p>試料：手術で摘出した組織や生検で得られた細胞、組織。検査に用いた標本の一部を薄く切ったり、一部をくり抜く（組織マイクロアレイ）ことがあります。新たに生検や手術を行うことはありません。</p>
<p>実施の期間</p>	<p>西暦 2000年 1月 1日より</p> <hr/> <p>西暦 2030年 1月 31日まで</p>
<p>研究対象</p>	<p>2000年1月1日から2030年1月31日までに、別紙に掲げる医療機関で造血器腫瘍が疑われ、病理組織検査を受けられた方</p>